

2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月9日

上場会社名 株式会社ゼンショーホールディングス 上場取引所 東
コード番号 7550 URL <https://www.zensho.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長兼CEO (氏名) 小川 賢太郎
問合せ先責任者 (役職名) 最高財務責任者 グループ経本部長 (氏名) 丹羽 清彦 (TEL) 03 (6833) 1600
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	266,583	24.4	17,247	80.1	17,023	84.2	10,796	61.7
2024年3月期第1四半期	214,368	20.2	9,578	259.9	9,243	13.2	6,675	50.8

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 24,867百万円(88.6%) 2024年3月期第1四半期 13,183百万円(6.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	66.33	—
2024年3月期第1四半期	43.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	770,917	234,324	30.4	1,299.91
2024年3月期	748,056	214,652	28.7	1,171.76

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 234,053百万円 2024年3月期 214,385百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	35.00	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	535,615	18.3	33,119	30.4	32,912	34.8	20,344	29.5	127.73
通期	1,080,000	11.8	62,500	16.4	61,500	20.8	37,000	20.5	231.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2025年3月期1Q	160,733,225株	2024年3月期	160,733,225株
2025年3月期1Q	4,068,576株	2024年3月期	4,068,435株
2025年3月期1Q	156,664,785株	2024年3月期1Q	151,822,846株

(注) 株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が「株式給付信託(BBT)」に係る信託財産として保有する当社株式(期末自己株式数291,800株、期中平均株式数291,800株)を、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。上記予想に関する事項は添付資料の3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(企業結合等関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2024年4月1日から2024年6月30日)の連結業績は、売上高2,665億83百万円(前年同期比24.4%増)、営業利益172億47百万円(同80.1%増)、経常利益170億23百万円(同84.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益107億96百万円(同61.7%増)となりました。

当社グループを取り巻く経営環境は、ウクライナ情勢の長期化や円安の進行などによる原材料・エネルギー価格の上昇を受け、不透明な状況が続きました。一方で、行動制限の撤廃による人流の回復・経済活動の正常化や雇用・所得環境の改善に伴い、個人消費の持ち直しが前期から引き続き見られました。

外食事業につきましても、ご家族やグループでのご利用が増えるなど需要の高まりが見られました。

このような状況の中、各報告セグメントの既存店売上高前年比は、「グローバルすき家」で107.5%、「グローバルはま寿司」で116.0%、「グローバルファストフード」で107.4%、「レストラン」で112.6%、「小売」で97.7%となりました。

当第1四半期連結会計期間末の店舗数につきましては、316店舗出店、84店舗退店した結果、15,341店舗(F C 8,134店舗含む)となりました。

報告セグメント別の概況につきましては、以下の通りであります。なお、文中に記載している売上高は、外部顧客への売上高としております。

(グローバルすき家)

「グローバルすき家」の当第1四半期連結累計期間の売上高は、684億67百万円(前年同期比11.0%増)、営業利益は、54億45百万円(同46.8%増)となりました。

「すき家」は、日本国内と中国、東南アジア及び中南米に展開しており、ご家族やグループのお客様にもご利用いただけるよう、主力の牛丼を中心に安全で美味しい商品を手軽な価格で提供しております。

国内すき家では、「明太マヨチーズ牛丼」、「めかぶオクラ牛丼」などを販売しました。

なお、当報告セグメントの当第1四半期連結会計期間末の店舗数につきましては、15店舗出店、25店舗退店した結果、2,622店舗(国内1,953店舗、海外669店舗)となりました。

(グローバルはま寿司)

「グローバルはま寿司」の当第1四半期連結累計期間の売上高は、545億51百万円(前年同期比23.7%増)、営業利益は、38億12百万円(同116.3%増)となりました。

「はま寿司」は、日本と中国などに展開しており、新鮮な海産物を使用した寿司に加え、麺類やデザート、ドリンクなどのサイドメニューも充実させており、お子様から大人まで楽しんでいただいております。

なお、当報告セグメントの当第1四半期連結会計期間末の店舗数につきましては、13店舗出店した結果、680店舗(国内611店舗、海外69店舗)となりました。

(グローバルファストフード)

「グローバルファストフード」の当第1四半期連結累計期間の売上高は、773億53百万円(前年同期比65.2%増)、営業利益は、60億66百万円(同129.8%増)となりました。

「なか卯」は、親子丼・京風うどんを中心に、専門店にも負けない商品を提供しております。また、国内ではハンバーガーチェーンの「ロッセリア」、とんかつ専門店の「かつ庵」、武蔵野うどんの「久兵衛屋」などを展開しているほか、海外で展開する寿司テイクアウトのAdvanced Fresh Concepts Corp.、Sushi Circle Gastronomie GmbH及びSnowFox Topco Limited、ハラル認証を取得したチキンライス専門店TCRS Restaurants Sdn. Bhd.などが当報告セグメントに含まれております。

なお、当報告セグメントの当第1四半期連結会計期間末の店舗数につきましては、285店舗出店、54店舗退店した結果、10,703店舗(国内986店舗、海外9,717店舗、F C 8,057店舗含む)となりました。

(レストラン)

「レストラン」の当第1四半期連結累計期間の売上高は、363億48百万円(前年同期比12.3%増)、営業利益は、23億6百万円(同195.6%増)となりました。

ファミリーレストランの「ココス」は、季節感を重視したフェアメニューの積極的な導入による商品の強化、専門店にも負けない本格的な味の追求、お客様が満足してお食事をしていただけるようサービス水準を高め、業績の向上に努めてまいりました。そのほかにパスタ専門店の「ジョリーパスタ」、ハンバーグ&ステーキレストランの「ビッグボーイ」、厳選された牛肉を提供する焼肉チェーン店の「熟成焼肉いちばん」、本格イタリアンレストランの「オリーブの丘」、和食レストランの「華屋与兵衛」などが当報告セグメントに含まれております。

なお、当報告セグメントの当第1四半期連結会計期間末の店舗数につきましては、1店舗出店、2店舗退店した結果、1,188店舗(F C77店舗含む)となりました。

(小売)

「小売」の当第1四半期連結累計期間の売上高は、190億29百万円(前年同期比2.7%減)、営業損失は、4億50百万円(前年同期は営業損失3億85百万円)となりました。

北関東中心に展開しているスーパーマーケット「マルヤ」、「ジョイフーズ」などのほか、青果販売等を行っている㈱ユナイテッドベジーズなどが当報告セグメントに含まれております。

なお、当報告セグメントの当第1四半期連結会計期間末の店舗数につきましては、1店舗出店、3店舗退店した結果、130店舗となりました。

(本社・サポート)

「本社・サポート」の当第1四半期連結累計期間の売上高は、11億99百万円(前年同期比12.5%増)、営業利益は、7億61百万円(同24.3%減)となりました。

食品の製造・加工を担う㈱G F F、物流機能を担う㈱グローバルフレッシュサプライ、備品・ユニフォーム等を調達する㈱グローバルテーブルサプライ等が当報告セグメントに含まれております。

(その他)

「その他」の当第1四半期連結累計期間の売上高は、96億32百万円(前年同期比9.8%増)、営業損失は、5億25百万円(前年同期は営業利益89百万円)となりました。

家庭用冷凍食品販売の㈱トロナジャパン、醤油やドレッシングなどの製造・販売を担う㈱サンビシ、介護事業を運営する㈱輝、玄米・精米の販売を行っている㈱ゼンショーライス等が含まれております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産は7,709億17百万円となり、前連結会計年度末から228億60百万円増加しました。これは主に、有形固定資産の増加等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は5,365億92百万円となり、前連結会計年度末から31億88百万円増加しました。これは主に、買掛金の増加等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は2,343億24百万円となり、前連結会計年度末から196億72百万円増加しました。これは主に、利益剰余金及び為替換算調整勘定の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年5月14日発表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	82,171	68,003
売掛金	46,727	49,633
有価証券	19,907	16,053
商品及び製品	5,113	5,290
仕掛品	2,731	3,862
原材料及び貯蔵品	41,058	46,206
その他	27,112	30,286
貸倒引当金	△365	△374
流動資産合計	224,457	218,961
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	253,223	260,711
減価償却累計額	△147,862	△150,726
建物及び構築物（純額）	105,360	109,985
機械装置及び運搬具	26,085	28,506
減価償却累計額	△14,146	△15,071
機械装置及び運搬具（純額）	11,939	13,435
その他	220,917	237,682
減価償却累計額	△106,204	△112,552
その他（純額）	114,713	125,130
有形固定資産合計	232,013	248,551
無形固定資産		
商標権	201,169	213,919
のれん	13,616	13,461
その他	5,493	5,800
無形固定資産合計	220,279	233,180
投資その他の資産		
投資有価証券	2,162	1,458
差入保証金	38,074	38,642
その他	30,323	29,464
貸倒引当金	△105	△106
投資その他の資産合計	70,453	69,458
固定資産合計	522,746	551,190
繰延資産	852	764
資産合計	748,056	770,917

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	43,148	47,924
短期借入金	7,542	7,303
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	26,735	30,911
未払法人税等	14,966	8,251
契約負債	860	997
引当金	4,082	2,410
その他	73,368	73,814
流動負債合計	180,704	181,613
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	224,369	216,179
引当金	378	398
退職給付に係る負債	274	278
資産除去債務	6,814	6,928
その他	105,862	116,193
固定負債合計	352,699	354,979
負債合計	533,403	536,592
純資産の部		
株主資本		
資本金	47,497	47,497
資本剰余金	74,112	74,112
利益剰余金	85,461	91,010
自己株式	△13,715	△13,715
株主資本合計	193,355	198,904
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24	29
繰延ヘッジ損益	158	281
為替換算調整勘定	20,845	34,837
その他の包括利益累計額合計	21,029	35,148
非支配株主持分	267	271
純資産合計	214,652	234,324
負債純資産合計	748,056	770,917

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	214,368	266,583
売上原価	99,162	119,739
売上総利益	115,206	146,843
販売費及び一般管理費	105,628	129,595
営業利益	9,578	17,247
営業外収益		
受取利息	176	475
受取配当金	1	0
為替差益	215	484
持分法による投資利益	1	5
その他	264	590
営業外収益合計	659	1,556
営業外費用		
支払利息	771	1,268
その他	222	512
営業外費用合計	994	1,781
経常利益	9,243	17,023
特別利益		
受取補償金	55	82
退職給付制度終了益	179	—
その他	53	177
特別利益合計	287	259
特別損失		
固定資産売却損	26	167
固定資産除却損	360	420
その他	148	560
特別損失合計	534	1,149
税金等調整前四半期純利益	8,996	16,133
法人税、住民税及び事業税	2,459	4,168
法人税等調整額	△137	1,166
法人税等合計	2,322	5,335
四半期純利益	6,674	10,798
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,675	10,796

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	6,674	10,798
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	64	4
繰延ヘッジ損益	1,408	123
退職給付に係る調整額	△58	—
為替換算調整勘定	5,064	13,916
持分法適用会社に対する持分相当額	28	24
その他の包括利益合計	6,508	14,069
四半期包括利益	13,183	24,867
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,178	24,862
非支配株主に係る四半期包括利益	4	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結 損益 計算書 計上額 (注) 3
	グロー バル すき家	グロー バル はま寿司	グロー バル ファスト フード	レスト ラン	小売	本社・ サポート	計				
売上高											
外部顧客への 売上高	61,671	44,108	46,822	32,370	19,554	1,066	205,593	8,775	214,368	—	214,368
セグメント間の 内部売上高 又は振替高 (注) 4	64	0	2	34	108	82,626	82,836	2,614	85,450	△85,450	—
計	61,736	44,108	46,824	32,404	19,662	83,693	288,429	11,389	299,819	△85,450	214,368
セグメント利益 又は損失(△)	3,709	1,762	2,639	780	△385	1,005	9,512	89	9,601	△23	9,578

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外販製造卸売事業、介護事業及び畜産水産事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△23百万円は、主にセグメント間取引消去及び棚卸資産の調整額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場実勢価格に基づいております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「グローバルファストフード」において、当第1四半期連結会計期間において㈱ロッセリア及びSushi Circle Gastronomie GmbHを株式取得により子会社化したことに伴い、のれんがそれぞれ3,007百万円、6,922百万円増加しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結 損益 計算書 計上額 (注) 3
	グロー バル すき家	グロー バル はま寿司	グロー バル ファスト フード	レスト ラン	小売	本社・ サポート	計				
売上高											
外部顧客への 売上高	68,467	54,551	77,353	36,348	19,029	1,199	256,950	9,632	266,583	—	266,583
セグメント間の 内部売上高 又は振替高 (注) 4	71	0	3	35	196	92,752	93,059	3,109	96,168	△96,168	—
計	68,539	54,551	77,356	36,384	19,225	93,952	350,009	12,742	362,751	△96,168	266,583
セグメント利益 又は損失(△)	5,445	3,812	6,066	2,306	△450	761	17,941	△525	17,416	△168	17,247

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外販製造卸売事業、介護事業及び畜産水産事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△168百万円は、主にセグメント間取引消去及び棚卸資産の調整額であります。
3. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場実勢価格に基づいております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	7,948百万円	11,100百万円
のれんの償却額	433	418

(企業結合等関係)

2023年5月23日(みなし取得日2023年6月30日)に行われたSushi Circle Gastronomie GmbHとの企業結合について、前第1四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前第3四半期連結会計期間において会計処理を確定した結果、暫定的に算定されたのれんの金額6,922百万円は6,357百万円減少し、565百万円となっております。

なお、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に与える影響はありません。